

Bird's eye view #12 サムエル記上、下における五人の主要な人物に見られる、良き地の享受に関する霊的な原則、命の学課、聖なる警告^{5/23-29} **エリの下で古いアロンの祭司職は古びて衰退したので、神は新しい開始を持って、ご自身のエコノミーを完成することを願いました。****A** 私たちはみな、腐敗、古さ、生ぬるさ、高ぶりの一切を拒絶し、主に対して空で、開いており、新鮮で、新しく、生き生きとして、若くあるように自分自身を保つ必要があります。私たちは彼の願いと一となる必要があります。彼の願いは、私たちがキリストと一となり、キリストで満たされ、キリストによって占有されて、キリストを生き、キリストのからだを有機的に建造することです。**ピルピ 3:13** 兄弟たちよ、私はまだ自分自身、捕らえたとは思っていません。ただ一つの事、すなわち、後ろにあるものを忘れて、前にあるものに向かって体を伸ばしつつ、**14** キリスト・イエスの中で私を上を召してください。神の賞を得るために、目標に向かって追い求めています。**ガラテヤ4:19** 私の子供たちよ、キリストがあなたがたの内に形づくられるまで、私はあなたがたのために、再び産みの苦しみをしています。**B** エリの時代に神の言葉はまれでした。神の語りかけはほとんど失われていました。祭司職において、祭司が行なうべき第一の事は、神のために語ることです。祭司は神と親密であり、神と一であり、神の心を知っており、神の永遠のエコノミーの唯一で健康な教えを語り出す人でなければなりません。**C** エリはサムエルに、主に対してこのように言うように教えました、「エホバよ、お話しください。あなたのしもべは聞いております」。主のために語り、主と一となって彼の永遠のエコノミーを遂行するために、私たちはまず彼の語りかけを尊び、注意深く聞かなければなりません。それによって私たちは彼の願いと好みを知ります。**サムエル上3:10** エホバは来てそばに立ち、これまでの時のように、「サムエルよ! サムエルよ!」と呼ばれた。サムエルは言った、「お話しください。あなたのしもべは聞いております」。**D** エリは祭司職を軽んじ、自分の二人の邪悪な息子を取り扱うことで怠慢でした。**II** **サムエルは、神が与えたサムエルの身分と職務のすべてにおいて、神に対して忠信でした。****A** レビ人として、彼は全生涯、神に仕えました。ナジル人として、彼は失敗することなく自分の献身を守りました。祭司・預言者として、彼は神のために誠実に語り、預言者職を開始し、神聖な啓示において衰退しつつある祭司職を置き換えました。士師として、彼は神に対して忠信であり、民に対して公正であり、士師職を終わらせ、王職をもたらして、時代を変え、神のエコノミーを成就するようにしました。**B** サムエルは、神と共に働いて彼のエコノミーを遂

行した者として、エホバの言葉を聞くことによって、エホバの預言者として立てられて、彼のために語りました。私たちは絶えず自分自身を訓練して、「その霊が諸召会に言われることを聞く」耳を持つ必要があります。さらに、私たちは「主の足もとに座って、主の言に聞き入っていた」マリアの模範に従う必要があります。**サムエル上3:20** 全イスラエルは、...サムエルがエホバの預言者に立てられたことを知った。**21** ...エホバはご自身を...サムエルに、エホバの言葉によって啓示されたからである。**ルカ10:39** 彼女にはマリアという姉妹がいたが、マリアは主の足もとに座って、主の言に聞き入っていた。**III** **ヨナタンはダビデを愛し、ダビデと契約を結び、ダビデが王となり、王国が彼の王国となると予告しました。****A** サウルの意図は、ヨナタンのために王国を維持することでした。しかしながら、ヨナタンは進んで王国を取ろうとしないで、ダビデが王座に就くべきであることを承認しました。**B** ヨナタンはこれについて父に告げるべきであり、そして父を離れてダビデと共にいるべきでした。予表において、ヨナタンがダビデに従うことは、今日私たちがキリストに従い、彼に首位になっていただくことを表徴しました。**コロサイ1:18** そして御子は、召会であるからだのかしらです。彼は初めであり、死人の中から最初に生まれた方です。それは彼ご自身が、万物のうちで第一位となるためです。**C** ヨナタンは、神が約束された良き地における彼の分け前の正しい十分な享受を失いました。それは彼の父に対する天然の愛情のゆえに、神のみこころにしたがってダビデに従おうとしなかった彼の失敗のゆえでした。ヨナタンは、ダビデが王となることを認識していましたが、父と共にとどまりました。悲劇的な結果として、ヨナタンは父と同じ終局を迎え、父と共に戦場で死にました。**IV** **サウルは神によって選ばれ、サムエルによって油塗られてイスラエルの王となりました。****A** サウルは少なくとも二回、神の言葉に従わず、彼の王職と彼の王国を失いました。サウルはサムエル記上15章で神に従わなかったとき、実は神に反逆しました。**B** この章でサムエルはサウルに、「反逆は占いの罪に等しく、不従順は偶像礼拝とテラピムに等しい」と告げました。占いを実行することは悪霊と接触を持つことです。サウルが神に反逆して行なったことは、この占いの罪のようでした。サウルは神に従わず、事実、神の敵となりました。その結果、彼は彼の王職を失いました。**サムエル上15:23** 反逆は占いの罪に等しく、不従順は偶像礼拝とテラピムに等しいからである。あなたがエホバの言葉を拒絶したので、エホバもあなたを王であることから拒絶された。**B** サウルの利己主義のゆえに、イスラエルの民はペリシテ人との戦いで敗北し虐殺され、サウルと彼の

子たちは殺されました。サウルが自分自身と自分の子のために王国を持つという野心、そしてダビデに対するねたみは、神が約束された良き地に対する享受を取り去り、終わらせました。[ガラテヤ5:24](#)しかし、キリスト・イエスのものである人たちは、肉をその情と欲と共に十字架につけてしまったのです。[マタイ16:24](#)だれでも私について来たいなら、自分を否み、自分の十字架を負い、私に従って来なさい。**V**ダビデはサムエルを通して神によって選ばれ、油塗られて、イスラエルの王となりました。**A**ダビデはゴリアテを殺した後、イスラエルの女たちによって称賛され、サウルよりも高くされましたが、ダビデには、高ぶったり、王職を求めて野心的になったりした気配はありませんでした。ダビデはサウルの迫害の試練の下にいた間、良しとされて正しい人となり、地上で神の王国を確立することによって神のエコノミーを遂行しました。**B**ダビデはサウルの迫害の下にいたとき、サウルを滅ぼす二度の機会がありました。しかしながら、ダビデはこれをしようとしませんでした。それは、サウルが神の油塗られた者であることで、ダビデが神を畏れたからです。**C**疑いもなく、ダビデは神の定められた御旨を成就するために、自らのために報復せず自分自身を否むことに関して多くを学びました。[サムエル上30:6](#)しかしダビデは、エホバ・彼の神の中で自分を力づけた。**E**ダビデが誠実に神に信頼し、神と共に忠信に歩んだことは、彼を完全に資格づけて高い水準で良き地を享受させ、神の心にかなう王職にまで至らせ、王国を地上での神の王国とならせました。ダビデは神と一でした。彼のものは神のものであり、神のものは彼のものでした。彼と神にはただ一つの王国がありました。そのような人が、キリストの予告である良き地を極みまで享受しました。**F**サウルが死んだ後、「サウルの家とダビデの家の間には長い戦いがあったが、ダビデはますます強くなり、サウルの家はますます弱くなった」(サムエル下3:1)。**G**どんな事においても主が私たちと共におられるという内なる感覚がないなら、私たちは注意深く、自分の道を再考慮しなければなりません。主の回復の中で、私たちがどんな事を行なうときにも、主の臨在の感覚に注意しなければなりません。私たちはみなこの二つの事柄を顧みるという学課を学ぶ必要があります。内側の神の臨在と、私たちの環境における外側の確証です。**H**さらに、私たちはみなダビデから、積極的な面についても消極的な面についても学ぶ必要があります。肉の欲は私たちを破壊し得る破滅の要素です。もしダビデのような敬虔な人でさえ誘惑され得るとしたら、どうして私たちは逃れることができるでしょうか？

神戸に在る召会 交わりと報告事項

1. 関西責任者・奉仕者ブレンディング集会:

28(土)10:00-11:00@本山

Zoom参加も可能です。

【Zoom ID】 374 864 5537 PW 3131

2. メモリアルデー特別集会:

6/3(金)19:00~ M1

6/4(土)10:00~ M2, 19:00~ M3

6/5(主)10:00~ M4, 19:00~ M5

6/6(月)19:00~ M6

【Zoom ID】

日・英:851 2479 8841

中: 817 1263 4385

手話: 564 343 1436

※パスワードは共通で31です。

3. 姉妹特別集会:

6/17(金)10:00-12:00 集会1

13:30-15:30 集会2

6/18(土)10:00-12:00 集会3

4. リー全集通読:

毎週月~金9:30-10:00, 21:30-22:00

毎週土 7:30-8:00

5. 聖書通読: 今週は通読表の22週目です。

CP1 人であれば信者であるべきである。信者であればこの時代の務めの中へと入り込むべきである

III ヨナタンはダビデを愛し、ダビデと契約を結び、ダビデが王となり、王国が彼の王国となると予告しました

Bヨナタンはこれについて父に告げるべきであり、そして父を離れてダビデと共にいるべきでした。予告表において、ヨナタンがダビデに従うことは、今日私たちがキリストに従い、彼に首位になっていただくことを表徴しました。**C**ヨナタンは、神が約束された良き地における彼の分け前の正しい十分な享受を失いました。それは彼の父に対する天然の愛情のゆえに、神のみこころにしたがってダビデに従おうとしなかった彼の失敗のゆえでした。ヨナタンは、ダビデが王となることを認識していましたが、父と共にとどまりました。悲劇的な結果として、ヨナタンは父と同じ終局を迎え、父と共に戦場で死にました。**D**ヨナタンはサウルとダビデの間に立っていました。彼は二つの務めの間に立っている一人の人でした。彼は第二の務めに従うべきでしたが、第一の務めに対する彼の関係があまりにも深かったため、彼は逃れることができませんでした。**1**それぞれの時代に、主には達成したい特別な事があります。主には彼ご自身の回復があり、行なうべきご自身の働きがあります。一つの時代において主が行なっている特別な回復と働きが、その時代の務めです。**2**ダビデは彼の時代の奉仕者であり、その時代の務めを持つ

ていました。旧約において、ノアは箱船を建造するというその時代の務めを持っており、モーセは幕屋を建造するというその時代の務めを持っており、ダビデとソロモンは宮を建造するというその時代の務めを持っていました。**5**神の建造する務めには、それぞれの時代にその務めの中で率先する人たちがいます。どうか主が私たちの目を開いて見せてくださいますように。私たちは人である限り、クリスチャンであるべきです。私たちはクリスチャンである限り、この時代の主の務めの中へと入り込むべきです。**使徒13:36**さて、**ダビデは神のみこころによって彼自身の世代に仕え...****6**人がその時代の務めを見て、それと接触することができることは、神のあわれみです。しかしながら、人が勇気を出して過去の務めを捨て、神の現在の務めの中へと入ることは、完全に別の事です。**7**時代の務めは、現にある真理を神の民に供給します。**2ペテロ1:12**の「**現にある真理**」は、「今日の真理」とも訳すことができます。主のあらゆる働き人は主の御前で、現にある真理が何であるかについて尋ね求めるべきです。**エペソ4:12**それは、**聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり。**

適用:ビジネスパーソン、大学院生編

信者は家族や勤めている会社での享受と責任があるように、神の王国である召会生活においても享受と責任があります。新約聖書で最も高い書であるエペソ書は、最初にキリストにあって召会が受けている祝福と地位を啓示しています。その後で、召会が聖霊の中で必要とする生活と責任を示し、その区分で倫理的関係の中で必要とされる生活:**1**夫と妻の関係、**2**子供と両親の関係、**3**奴隷と主人(従業員と経営者)の関係について述べられています(回復訳聖書、アウトラインより)。

この事は、あなたの家庭生活やビジネスライフが健康で祝福されるために、先ずキリストと彼のからだ、召会についてのビジョンとビジョンに基づいた召会生活が必要であるということです。神のエコノミーであるキリストと召会のビジョンとビジョンに基づく経験がなければ、あなたは神の王国の中にはいないので、実際的にはサタンの王国にいるのです。そうであれば、決して健康で、祝福された家庭生活とビジネスライフを持つことはできません。

コロナ禍で、最近数名の有名な芸能人が自殺しました。彼らの共通した特徴は、真面目で、評判のいい人たちで、一見して幸せな家庭生活と成功したビジネスライフを持っていました。しかし、彼らはコロナ禍での急激な変化について行けず、精神的にうつ症状になり、自殺してしまいました。

今の時代は、神のエコノミーのゴールであるキリ

ストのからだを建造する時代であり、主は二一兄弟と一兄弟を起し、彼らを通して神のエコノミーの啓示と啓示に基づいた経験に関する言葉を解放されました。信者であるあなたは、この時代の務めの言葉の中に入り込み、務めと一つになって、神聖な啓示に従って建造の道を前進してください。

私たちは人である限り、クリスチャンであるべきです。私たちはクリスチャンである限り、この時代の主の務めの中へと入り込むべきです。それはあなたがサタンの王国から救い出され、神の王国の中で祝福されるためです。**使徒 20:24**しかし、私が自分の行程と、主イエスから受けた務めを全うして、神の恵みの福音を厳かに証しするためには、自分の命を尊いとは思いません。

祈りおお主イエスよ、私たちは人である限り、クリスチャンであるべきであり、クリスチャンである限り、この時代の主の務めの中へと入り込むべきです。この時代の務めを通して、神のエコノミー、キリストと彼のからだ、召会についてのビジョンとビジョンに基づいた召会生活が明確に提示されています。この時代の務めの言葉の中に入り込み、務めと一つになって、神聖な啓示に従って建造の道を前進します。アーメン!

CP2 ダビデは淫行のゆえに彼のすべての良い働きを台無しにした。淫行から徹底的に逃れる必要がある

VH 私たちはみなダビデから、積極的な面についても消極的な面についても学ぶ必要があります。肉の欲は私たちを破壊し得る破滅の要素です。もしダビデのような敬虔な人でさえ誘惑され得るとしたら、どうして私たちは逃れることができるでしょうか? **2テモテ2:22** ただし、あなたは若い時の欲から逃れなさい。そして純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、義、信仰、愛、平和を追い求めなさい。**1** 私たちの霊的な追求の到達にかかわらず、私たちのだれもがそのような罪を犯す可能性があるのです。私たちはこの記述を、神の臨在の中で真剣に読むべきです。この記述は私たちに、肉の放縦は重大な事であることを警告します。ダビデはほんの少し見ることによって誘惑され、そして自分自身を抑制し損ないました。**2** すべての聖徒たち、特に若い人たちは、自分の心を探り、心に固い決意をして、決して肉の放縦の道に行かないようにすべきです。私たちは言う必要があります、「主イエスよ、あなたを愛します。あなたが必要です。あなたを受け入れます。」こう言うなら、彼は私たちの救い主、ダイナミックな救いとなられます。霊なるキリストとして、彼は私たちをこの時代の汚れから救い、守り、保護してくださいます。それは、私たちが得た栄光を保つためです。**士5:15** ...ルベンの支族の間では、心に大きな決意があった。**16** ...ルベンの支族には、心に大きな探求があった。

ダビデは...故意に姦淫を犯しました。キリストの系図の記録の中で、マタイはことさら、「ダビデはウリヤの妻であった者からソロモンを生み」(マタイ 1:6)と書きました。これはダビデの罪の重大さを示します。

肉の欲は私たちを破壊し得る破滅の要素です。もしダビデのような敬虔な人でさえ誘惑され得るとしたら、私たちは逃れることができるでしょうか？人は人であり、肉は肉であり、欲は欲です。私たちは常に、自分自身と異性との間に距離を保つべきです。若い男性と若い女性は、閉ざされた部屋で異性のだれかとひそかに話すべきではありません。どの敬虔な人も異性と接触するとき、だらしなくあるべきではありません。私たちの霊的な追求の到達にかかわらず、私たちのだれもがそのような罪を犯す可能性があるのです。...イスラエルの子たちは彼らの国家と父祖たちの地を失いました。彼らは世界中にまき散らされ、そして迫害され殺されました。今日、彼らは地中海近くの狭い地区を持っているだけですが、近隣諸国との平和がありません。

適用:青少年、大学生、新人編

若者と新人の皆さんは、ダビデの積極面と消極面の両方から学んでください。消極面から言うと、彼は淫行の故に、彼のすべての良い働きを台無しにしてしまいました。あなたは若い時から、淫行から徹底的に逃れることを学んでください。

①創世記35:22 イスラエルがその地に住んでいたころ、ルベンは父のそばめビルハの所に行って、彼女と寝た。②ヘブル13:4 すべての人の間で結婚が尊ばれるようにしなさい。また床を汚してはいけません。なぜなら、神は淫行の者と姦淫する者を裁かれるからです。FN結婚が尊ばれる 召会生活では、兄弟と姉妹との接触は避けられません。ですから、汚れに落ち込むことから守られるために、私たちは結婚を尊び、またいい加減に振る舞ってはなりません。それは、神のエコノミーにおける私たちの長子の権に、重大な影響を及ぼすことです。ルベンは汚れのゆえに長子の権を失い、ヨセフは清純のゆえにそれを受けました。神は淫行の者と姦淫する者を裁かれます。召会も、彼らを裁かなければなりません。この汚れほど、聖徒たちと召会生活を駄目にするものはありません。③箴言5:7 子たちよ、今私に聞き従いなさい。私の口の言葉から離れてはならない。⑧ あなたの道を彼女(淫婦)から遠ざけ、彼女の家の戸口に近づいてはいけません。⑨ そうでないと、あなたの尊厳を他人に渡し、あなたの年を残忍な者に渡すことになる。...23 彼は教訓に欠けるために死に、多くの愚かさの中でさまよう。④ネヘミヤ5:14 また、王が私をユダの地の総督に任命した時から、すなわち、王アルタシャスタの第二十年か

ら第三十二年までの十二年、私と私の兄弟たちは、総督のために与えられる食物を食べなかった。FN食べなかった ネヘミヤは総督として、王の地位にあり、エルサレムの城壁を再建して神のエコノミーを完成することで、純粋な心を持った人でした。イスラエルとユダの多くの王たちとは異なり、彼は利己的ではなく、自分の利益を求めず、性欲を放縱しませんでした。ですから、彼は資格づけられて最高の分け前、神が彼の選民に約束された良き地の王職を享受しました。...ネヘミヤは神の民の間でリーダーがどうあるべきかの模範でした。

エペソ5:22~6:9で三種類の間人間関係、夫婦の関係、親子の関係、会社での上司との関係が述べられています。最初に述べられているのは夫婦の間人間関係であり、この関係が最も重要です。聖書は、人の正常な生活について、結婚を重んじています。結婚は男性の忠信が基礎であり、女性の美德が立て上げます。淫行は結婚生活を破壊するので、特に兄弟たちは淫行から逃れるために女性と正常な距離を保たなければなりません。

証私には女子大学に薬学部が設立された私立大学の薬学部に行きました。薬学部自体も女性の方が多かったので、通常のキャンパスライフで女性との接触が普通の大学生より多かったと思います。そのような状況下なので、教会の責任者で大学の教授をしていた兄弟が、「若い女性に対して隙があってははいけません」と私に言いました。私は心の中で、「そんなことを言っても基本が女子大なのでしょくない」と思い憤っていました。しかし責任者の兄弟が私のために言ってくださったので、「主よ、隙のある私を赦してください。私がいつも目を覚まして若い女性との正常な距離を保つことができますように。私はまだ肉の中の人なので、自分に頼って自分を聖別することはできません」とよく分からないまま祈りましたが、祈った時、自分に隙があることに少し気付きました。この祈りは効果があり、私は守られることができたことと証できます。兄弟の忠告に感謝します。

祈りお主イエスよ、情欲は私たちを破壊し得る破滅の要素です。ダビデのような敬虔な人でさえ誘惑され失敗しました。神は淫行の者と姦淫する者を裁かれます。ルベンは汚れのゆえに長子の権を失い、ヨセフは清純のゆえにそれを受けました。汚れに落ち込むことがないように、異性との間に距離を保ち、結婚を尊び、いい加減に振る舞うことがないように、いつも目を覚ましておく必要があります。